

なぜ落ちこぼれ学生は、社会で成功するのか？ あなたの成績が悪くてもいい理由

はじめに

アメリカでは、ほとんどの大学の成績の付け方がA~Dに分かれている
成功者の多くは落ちこぼれと言われた人だった

成績A：90点~100点（全体の2割）
成績B：中の上
成績C：平均からそれ以下

成功者たちの多くはここだった

成績が悪かった有名人

「本日卒業する学生諸君へ、私は『よくやった』と言いたい。そして成績がCだった学生諸君へ、『君もよくやった。』そしてきっと大統領になれる』」 ジョージ・ブッシュ

学生時代の成績が芳しくなかった大統領
ジョン・F・ケネディ
リンドン・ジョンソン

大学を中退した有名起業家
スティーブ・ジョブズ
マーク・サッカーバーグ
ビル・ゲイツ

彼らはきっと大学でいい成績を取ることに意味を見出さなかったのだろう
もっと上を見ていたに違いない

大学（学校）での優劣は、実社会とは関係ない

「大学での成績がどのようなであろうと、人生で大した意味はない。なぜなら、人生において大学のスコアを聞かれることはないからだ。成績は、学生時代の君を示す数値になる。しかしそれは、残りの人生を定義するものではない」 宇宙物理学者ニール・ドグラス・タイソン

学生の時にいい成績をおさめることは、能力を示す一つの目安にはなる
大学で優秀だったからといって実社会でもトップになれるわけではない

実社会では、数学の方程式のように、こうやればこうなるという事はあり得ない
きっと失敗や挫折のほうが多い

POINT
成功するには、情熱や忍耐力、そして失敗が持つ価値を深く理解することが重要

もがきながら困難に打ち勝っていく真の意味を誰よりも分かっている
特徴、経験、コネクションも必要

だからといって、成績が悪いほうが成功できるという意味ではない

まとめ

あなたの成績が悪くてもいい理由まとめ

あなたが例え学校での成績が悪かったとしても全く問題ない

成績の優劣なんて関係ない、大事なのは社会に出てどれだけ人の役に立つかなんだ

成績が良かった人ももちろん素晴らしい、しかし成績が悪かったからって落ち込む必要はない

大事なのは「今」で「これから何をするか」

スティーブ・ジョブズ
マーク・サッカーバーグ
ビル・ゲイツ
大事なのは、自分が好きなこと、得意なことを突き詰めて学ぶこと。だから彼らも大成功した

好きな事なら辛いとか大変だと思わない
だから強い
好きなことを学ぶのは楽しい、好きなことを学び人の役に立つのはもっと楽しくて嬉しい

死ぬ直前まで自分の使命となる学びを続けよう

それが最高にエキサイティングな人生になるに違いない

社会で問われるのは、「どれだけ人の役に立ってるか否か」

結局、成績は単なる紙きれにすぎない

本当の成功とは、「他の人のためになるような変化」を、実社会で起こせるかどうか

要はどれだけ人の役に立ってるかどうか

大学を優秀な成績で卒業できなかったからと言って、落ち込まないでください

中卒でも高卒でも専門学校卒でも中退でも関係ないのです

学校での学びも大切ですが、社会に出てからの学びのほうがもっと大切です

むしろそこからがスタートです
学校を卒業したら学びが終わりではありません

一生学びを続けましょう
やっていて自分の心が踊ること
多くの人の役に立つこと